

教科名	国語	科目名	現代文	履修クラス	2年全クラス	
				担当者	湯沢・中里・保科・長島	
使用教科書		「新版現代文」教育出版			履修単位数	3
副教材等		「カラー版新国語便覧」第一学習社 「漢字の実践練習」第一学習社				

学習のねらい・育てたい力・目標	評価の観点・評価方法など
近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。	様々な文章を学習することで、読み・書く・話す能力が身についたかを評価する。 定期考査・小テスト・提出物・学習意欲等を総合的に判断し、評価する。宿題テストも加える。

年間授業計画			
月	予定時数	単元	学習内容・学習活動
4	中間考査まで 18	『想像への畏敬』 『山月記』	①時代を超えた言葉の力を実感し、古典のおもしろさ、想像力とは何かについて学ぶ。 ②人間が虎になるという虚構を通して、表に現れたものでは知りえない、人間存在の内奥について考える。
5			
6	期末考査まで 21	『ミロのヴィーナス』 『永訣の朝』 他	③論の展開に沿って、芸術がどのような可能性を開示するかを考え、我々の常識的な見方や考え方を打ち破る思考の方法を理解する。 ④様々な詩を読み、抒情世界の広がりとお行を学ぶ。また、言語感覚を磨き、いろいろな表現方法を知り、想像力を育成する。
7			
9	中間考査まで 21	『蛙は一匹か数匹か』 『グレイの層』	①俳句や茶室という伝統的日本文化を扱った文章を読み、日本語・日本文化の特徴やその可能性を理解する。 ②最も現代的な短篇小説を読み、文学作品に親しみ、そこに描かれている現代的テーマを知る。
10			
11	期末考査まで 21	『地図の想像力』 『こころ』	③「テキストとしての地図」という筆者のとらえ方を理解し、人間が世界を解釈し、「意味」を生産していく行為について理解する。 ④日本近代文学の代表的な作品を読み、その現代に通じる問題意識を読み取ることで、作品主題の普遍性を理解する。
12			
1	学期末考査まで 24	『文学のふるさと』 俳句・短歌	①世界は根源的に「アモラル」であり、そこに文学のふるさとがあるという筆者の考えを理解する。 ②世界を「物語化」してとらえる人間の認識のあり方について考える。 ①伝統文芸である俳句や短歌の表現技法を理解し、鑑賞することで、日本人独自の感性を知る。
2			
3			

担当者からのメッセージ (授業の受け方・家庭学習の仕方・受験勉強の仕方等)
現代文の授業は、すべての勉強の基になるといっても過言ではありません。授業に集中し、まず虚心に作品と向き合って下さい。それから普段の読書を通して人間としての幅をひろげ、自分の生き方のヒントをつかんで下さい。毎日の復習を怠らないことはもちろんですが、定期考査の前などは、本文を何度も読みながら、授業ノートを追って下さい。